

6
月号

学校だより



5月30日発行
東京都立中野特別支援学校+しいの木分教室
和田 慎也
<https://nakano-sh.metro.ed.jp/>

さくら校舎に移転して早2か月、校外歩行や遠足、他校施設での体育など教育活動も活発になってきました。今月は、宿泊行事、しいの木分教室との交流、来年度入学に向けての説明会も始まります。

＊お願い＊ 御来校後、校内から出られるときは必ず企画室側の自動ドアから出てください。開きドアの鍵が開けたままになってしまい、子どもたちの安全に影響を及ぼします。また、繰り返しのお願いとなり恐れ入りますが、必ずPTAよりお渡ししている「入校証」を付けていただきますよう御理解御協力をよろしくお願いいたします。

副校長 赤阪 早苗

小学部より（3年担任 宮島 和樹）

5月15日、小学部3・4年生は、遠足で多摩動物公園へスクールバスで行きました。動物園に到着すると、待ち構えてくれていたマレーバクや大きな象などに子供たちは興味津々でした。たくさん歩いた後はお楽しみのお弁当。帰りは、3年生はスクールバス。4年生は電車で新宿駅まで帰りました。とても楽しい笑顔いっぱいの1日となりました。



中学部より（学部主任 朝枝 貴政）

今年度、中学部の生徒たちは都立文京盲学校の体育館を使用して、体育の授業を行っています。緊張した様子でバスに乗っている生徒たちも、体育館に入ると表情が変わります。サーキット運動やランニングなどを通じて、一生懸命に身体を動かしています。

これからも限られた時間の中で、より良い運動の時間を目指します。



高等部より（学部主任 半田 利和）

5月21日(水)、中野区選挙管理委員会委託のNPO法人DAKKOスタッフによる出前授業（主権者教育）が行われました。当日は実際に選挙で使用する投票箱や投票記載台を借用し模擬投票や選挙の仕組みについて学習しました。



保健体育の授業は、都立稔ヶ丘高校の広いグラウンド・体育館で行っています。



しいの木分教室より（主任教諭 伊丹 聡）

分教室には、約2000平米にもなる広い畑があり、外部専門員の方に御指導いただきながら作物を栽培しています。先日は、分教室の9名の児童・生徒が全員で、ミニトマト、ナス、シシトウなど夏野菜の苗を植えました。実ってきたら、学部ごとに収穫して、地域の方などに配布したいと考えています。

今は、冬に植えたジャガイモが青々と育っています。土の中ではイモが育っていると思います。6月にさくら校舎の皆さんが来られたときに、一緒にイモ掘りができることを楽しみにしています。



（野菜の苗を植えました）（ジャガイモの枝や葉）